

元気^に長く生き生きと！

自宅で生活を送っている方も、施設で生活を送っている方も、より長く！元気に！今の生活を続けていただけるよう、言語聴覚士の飲み込み訓練だけでなく、体と生活のスペシャリストの理学療法士や作業療法士が患者様ひとりひとりに合った運動訓練と生活指導を実施いたします。

アクセス



お問合せ

医療法人社団

いずみ会 **北星病院**

北海道千歳市清流5丁目1-1

0123-24-1121

内科外来・地域連携室

受付時間 月～金 9:00～17:00



北星病院

嚥下造影検査（VF）入院



こんな症状ありませんか？

- ☐ 食欲がない
- ☐ つまる感じがする
- ☐ むせやすい
- ☐ 熱を出すことが多くなった
- ☐ 食事に30分以上かかる

当てはまったら...ご相談ください

VFってなに？

VFとは嚥下造影検査のことで、飲み込みの過程や状態を正確に判断するための検査です。バリウムを混ぜた食品を食べて、レントゲン透視と同様の方法で飲み込み（嚥下）の状態を判断します。



嚥下機能って大切！

嚥下機能が低下してくると食事が摂りにくくなります。食事が摂れないと活動量が減り、筋力や体力が落ちてしまい、転倒リスクの増加や認知機能の低下につながります。当院では嚥下造影検査（VF検査）を目的とした短期間の入院を受け入れ、嚥下機能に問題がないのかを判断し、患者様にあった食形態の見直しや姿勢の調整、嚥下機能維持のための嚥下体操の指導も行っております。

VF入院の流れ

【1】当院の内科外来へ受診

当院内科医師の診察により、VFが必要と判断されればVF入院の手続きを行います。まずは主治医の先生にご相談ください。



【2】機能評価（入院0～2日目）

入院後は尿検査や血液検査、レントゲン検査、心電図検査をはじめ、必要となる検査を実施いたします。その後は医師、看護師、言語聴覚士、理学療法士、作業療法士が一つのチームとなって嚥下をはじめ全身の機能評価を行います。



【3】嚥下造影検査（入院1～3日目）

医師、看護師、言語聴覚士、放射線技師の立ち会いのもと、嚥下造影検査を実施いたします。



【4】生活指導（随時）

嚥下造影検査や機能評価をもとに、それぞれの患者様にあった食形態の選定や生活指導および運動指導を行います。施設関係者やご家族様へ向けた指導も行なっておりますのでご安心ください。



【5】退院（入院3～5日後）

医師からの説明と生活指導を行った後に退院となります。